

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和6年度第4回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和7年2月19日（水）午後1時30分 ～ 午後2時40分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、星 菜々絵、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、 押田 友紀子、武内 まゆみ、井上 麻央、佐々木 好恵、 小尾 裕美、富田 眞貴子、山口 景子、仲里 嘉晃、 千田 祐子 （計14名） 欠席者：眞中 裕子、和田 恵子、下河邊 千草 事務局：障害福祉課長、認定審査係係長、認定審査係主事、認定審査係 会計年度任用職員
議 題	1 報告事項 （1）令和6年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について （2）各部会からの報告について （3）部会長会議の報告について （4）自立支援協議会の運営体制について （5）その他 2 議題 （1）令和7年度武蔵村山市自立支援協議会の開催日程について （2）防災手帳について （3）武蔵村山市自立支援協議会子ども支援部会運営要領の改正について （4）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題 （1）令和7年度武蔵村山市自立支援協議会の開催日程について承認される。 （2）防災手帳について次回協議会までに一部修正する。 （3）武蔵村山市自立支援協議会子ども支援部会運営要領の改正について承認される。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	■（事前配布資料及び当日配布資料の確認） 1 報告事項 （1）令和6年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について ■配布資料に基づき説明 （2）各部会からの報告について （地域相談支援部会から報告） ○配布資料に基づき説明 ●市内の相談事業者が増えたということでよいか。

	○そのとおりである。 ○子どもに関する相談先が少ないと思うが、部会に参加している相談支援事業所で子どもに関する相談を受けている事業所はあるのか。 ○相談支援事業所は障害者のみを受ける事業所と障害者と障害児を受ける事業所がある。全部の事業所が障害児を受付ける訳でなく、4事業者が受付をしている。 ○障害児の障害福祉サービスを受けるのに相談に来る方は多いのか。 ○そのとおりである。障害児の相談は事業所が少ないのでセルフプランが多い。 (就労支援部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ○就労選択支援事業に関して、地域相談支援部会の中で相談支援専門員が理解しなければと感ずるので、就労支援部会の中で勉強した事を共有してもらいたい。 ○就労選択支援事業は福祉サービスため計画相談が必ず入るようである。モデルケースでは、支援の開始前に計画が入り、支援中に担当者会議を開き、終結の会議を開き、3回程度会議に参加することになっている。勉強会には計画相談の担当者が参加して意見を言ってもらいたい。 ●以前の制度で就労アセスやB型アセスと呼ばれるものがあり、国が提示したアセスメントシートがあったが、かなり細かく、面倒な様式であった。そこで、当時は数名のメンバーでプロジェクトチームを作り、アセスメントシートの武蔵村山版を作成した。まだ、就労選択支援事業のアセスメントシートの様式などが示されていないが、もし、細かく面倒な様式であれば、就労支援部会で作成することも考えられる。 (子ども支援部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ●児童発達支援センターは国が自治体に設置を進めていく内容になっているが、すでに設置済の自治体もある。武蔵村山市においては現実化していないが、今後、調査などしていく中で、ワーキンググループを作り、早く形を作っていく必要があるので、部会と市の同時進行をしていくことが良いと議事録から感じた。 ○小学校で放課後子ども教室のサポーターをやっているが、特別支援学級ができるのを聞いた。特別支援学級の子どもが放課後子ども教室に来るとなったときに、サポーターに支援の仕方を教えてくれないか聞いたところ、市の放課後子ども教室を担当している職員が、特別支援
--	--

	学級の子どもが放課後子ども教室に通いたいとなった場合、面接をすると聞いた。本来は行きたいところに行くことが良いはずなのに、特別支援学級の子どもだから面接をするのが疑問になった。子ども支援部会には、教育委員会も入っているので、教育委員会から特別支援学級の児童に対するサポートの仕方をアドバイスしてもらいたい。 ○子ども支援部会としても意見を出していきたい。 ○教育委員会内で連携してもらうために、文化振興課に話をしたほうが良い。教育センター内に就学相談や教育相談の相談員が在籍しているので、放課後子ども教室のスタッフに対して指導の仕方や関わり方などの講演会をしてくれるのではないかと、子ども支援部会の部会員は関わっている子供の状況が様々で、現場の状況が把握できないことが多いとある。所属経由で子ども支援部会に話を持ってきてもらいたい。 (障害者のくらしを考える部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ○質疑、意見等なし (地域支援事業所部会から報告) ○配布資料に基づき説明 ○人材確保の研修は地域支援事業所部会の所属している事業所で実施するのか。 ○そのとおりである。 ○今回、ヘルパーの事業所は対象になっていないのか。 ○体験は難しいが、動画等の事業所紹介は参加可能である。 (3) 部会長会議の報告について ■○配布資料に基づき説明 ●アンケートの結果には率直な意見がある。自立支援協議会本会議に出席している方、部会のみに参加している方が共通して取組んでいけるツールを作っていく必要がある。3月の部会長会議までたたき台をつくり、次回の協議会で示したい。 (4) 自立支援協議会の運営体制について ■○配布資料に基づき説明 ○各部会に基幹相談支援センターの職員が出席するようであるが、市の職員も出席するのか。
--	---

	○市の職員は出席する予定であるが、詳細については検討中である。 (5) その他 ○特になし ■特になし 2 議題 (1) 令和7年度武蔵村山市自立支援協議会の開催日程について ■配布資料に基づき説明 ○委員承認 (2) 防災手帳について ■前回の協議会防災手帳の案を配布し、今回の協議会までに内容等の確認をお願いしたところであるが、意見等をお願いしたい。 ○部会長会議の中で、否定的な意見があったことを聞いたため、意見を聞きたい。例えば、防災手帳をA4サイズにして作成することやQRコードで読込ができるようにするなどである。 ●否定的な意見はなかった。 ○作成するのは問題ないか。 ●問題ない。 ○使いたい人がQRコードを読込んで使用すれば良いと聞いたので、手帳自体を配布する必要がないとのことか。 ●配布しないではなく、QRコードで読込むことで利便性が向上することである。 ○A4サイズで作成する話はどうなっているのか。 ●家庭用のプリンターはA4サイズが主のため、利便性が高くなるので検討してもらいたい。 ○A3サイズをA4サイズに縮小するのか。 ●縮小するのではなく、両面印刷ができるように対応をすることである。 ○次回の部会で検討する。 ○紙で配布するのではなく、デジタル化して各自が保存しておけば、災害時にマイナンバーと連携することで、情報を確認することが可能で
--	--

